

# 第68次全国教研選出リポーター決定！

No	全国教研分科会名	組合	分会	名前	タイトル～サブタイトル～
1	日本語教育(A)	西宮	大社小	薦口 浩一	書く活動に焦点を当てた単元・授業づくり ～「書くことを基底とした言語活動構造図」の活用～
2	外国語教育(A 小学校)	芦屋	朝日ヶ丘小	小西 三枝	英語を“使いたくなる” 単元づくりの工夫 朝日ヶ丘小学校の外国語活動
3	外国語教育(B 中学校)	姫路	四郷中	岡村 泰宏	英語と国際理解 ～世界をよりよく知るために～
4	社会科教育(B 現状認識)	多紀	八上小	磯貝 陽吉	兵庫県の特色ある地域 ～日本遺産から兵庫県をみつめよう～
5	数学教育(A 小学校)	宍粟	伊水小	河野 一也	統計教育を授業の中でどう生かしていくか 統計教育の視点を取り入れた授業づくり
6	理科教育	洲本	洲本第二小	福原 広行	子どもたちの主体的・対話的で深い学びを促す理科授業をめざして
7	美術教育	宝塚	山手台中	小林久美子	～藤田嗣治の「戦争画」《アツシ島玉碎の図》を主軸に据えた比較鑑賞授業～
8	音楽教育	氷上	吉見小	大野 智香	地域とつながる音楽活動
9	家庭科教育	揖龍	太田小	大杉 聖子	心通わせ よりよい生活をめざす児童の育成 ～大規模校での教科運営～
10	保健・体育(A 保健)	姫路	高丘中	吉政由紀子	人権の視点からとりくむ性教育 ～生徒の実態から性教育の授業をつくる～
11	保健・体育(B 体育)	美方	浜坂北小	北村 翔馬	運動の楽しさ・達成感を味わう体育学習 ～ボールけりゲームのとりくみについて～
12	技術・職業教育(A 技術教育)	多西	黒田庄中	中嶋宏彰	技術科教育におけるICTの活用 ～話し合いの機会から問題解決の時間の設定～
13	自治的諸活動と生活指導(A 小学校)	東播	平岡小	藤原 充治	児童養護施設から通ってくる子どもたちとともに ～施設との密なる連携～
14	自治的諸活動と生活指導(B 中学校・高校)	氷上	市島中	大槻 隆浩	それって本当に自治？ ～自治的活動の意味と意義～
15	幼年期の教育と保育問題	加西	西在田小	中井 美香	充実した保幼小連携をめざして
16	人権教育	芦屋	山手中	比嘉美智子	生徒が学ぶ、わたしが学ぶ 「いのちの授業」の実践より
17	インクルーシブ教育	姫路	灘中	進藤 昌浩	「友だちを増やしたい」 ～インクルーシブへの道のり～
18	国際連帯・多文化共生の教育	宝塚	長尾中	森部 宏忠	交流・理解・キャリア・進路選択 三年間 入学～卒業まで
19	両性の自立と平等をめざす教育	尼崎	大庄中	河野美智子	トランジションの生徒に対する登校支援 ～学校生活をありのままの自分で…～
20	子ども・教職員の安全・健康と環境・食教育(A 環境・公害)	三木	口吉川小	富田 佳泰	ふるさとのよさ大発見！！ ～黒豆づくりを通して地域とつながろう～
21	子ども・教職員の安全・健康と環境・食教育(B 食教育)	南あわじ	倭文中	小山美和子	「見てふれて 活動して 明日につなげる食育」 －26人26色、26食 一人ひとりが主役です－
22	平和教育	西宮	今津小	秀徳 吉則	今津地域に残る記憶と記録を子どもたちとともに学ぶ平和学習 ～今津小学校校区から平和を考える6年生の学習について～
23	A 学校・地域の文化活動	南あわじ	三原中	森 久美	伝統文化を学びふるさとを愛する心を育てる ～淡路人形浄瑠璃を通して～
24	B 情報化社会の教育・学校図書館	赤相	山野里小	宇田川 亮	地域とつながる情報発信 報道委員会の5年間
25	高等教育・選抜制度と進路保障	宍粟	千種中	讃岐 等	中高連携型校のとりくみ ～子どもに夢を 千種に元気を～
26	カリキュラムづくりと評価	加小	小野南中	中村 栄喜	主体的・対話的で深い学びができる学習をめざして ～教えて考えさせる授業、家庭学習を通じて～
27	A 民主的な学校づくり	西宮	東山台小	松本 昂大	青年部のとりくみ
28	B P T A・地域の連携	南あわじ	辰美小	齊官 研斗	たんけん・発見・ふるさと辰美！ ～津井探検 楽しくまなぼう 津井のこと～
29	C 過密・過疎、へき地の教育	三田	小野小	小川 晶弘	小規模少人数をいかし、地域とともに歩む学校づくり
30	教育条件整備の運動	神戸	上野中	立野 亮	子どももおとなもいきいきと笑顔で過ごせる学校をめざして ～業務改善のとりくみとヒント～
31	総合学習と防災・減災教育(A ものづくり・生活・環境の中から)	宝塚	末成小	池田 輝寿	末小畠のもぐもぐ野菜 ～自分たちで考え、創る総合学習～
32	総合学習と防災・減災教育(B 人権・平和の視点から)	芦屋	精道小	高見 里奈	精道小学校の防災教育のとりくみ ～語り継ごう 命の大切さと人とのつながり～

(註) 全国教研の正式の分科会名 23：メディア・リテラシー教育と文化活動(A 学校・地域の文化活動)、24：メディア・リテラシー教育と文化活動(B 情報化社会の教育・学校図書館)、27：地域における教育改革とPTA(A 民主的な学校づくり)、28：地域における教育改革とPTA(B P T A・地域の連携)、29：地域における教育改革とPTA(C 過密・過疎、へき地の教育)



# 茨城県教職員組合より 兵教組へお見舞い

## 西日本豪雨・台風21号被害等に対する見舞金贈呈式

**兵庫朝鮮学園へカンパ**

11月20日、川原中央執行委員長、森戸書記長が、学校法人・兵庫朝鮮学園へ、兵庫県朝鮮学校への「外国人学校振興費補助」減額見直しを求めるカンパを届けた。

学園が、11月5日に兵庫県へ提出された署名でも、兵教組から組合員が集めた20,377筆の署名を届けていた。

学園のホームページに、「子どもたちの明るい未来のため、多文化共生社会実現の為いつもご理解・ご協力くださる日本の友人たちに心より感謝いたします。ご協力くださった兵庫県教職員組合の関係者の方々にこの場を借りりまして感謝申し上げます。コマツスンニダ」と写真とともに掲載された。

**Lasse Hall**  
人集い、街華やぐ交流拠点  
2018 Winter

**第四弾**

**冬のバンケットプラン**

2018年12/1(土) ▶ 2019年2/28(木)

**雪ゆき** お一人様 5,000円  
（税込・サービス料込）  
和洋中卓盛り料理

●ポークと白菜のマリネ 黒胡椒風味  
●ヤリ島鶏カレー味 兵庫県産野菜とトロティーアのサラダ  
●炙りサーモン 醬油ドレッシング  
●鯛のフライ コールスロー タルタルソース  
●鰯つみれ 厚揚 焼合せ ●若鶴と冬大根のブレゼ  
●三田こじかひり巻寿司 菊寿司 ●兵庫県産葱の椎子そば  
●デザート（ブッフェコーナーにてご提供）  
●コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

**梅ひらぎ** お一人様 6,000円  
（税込・サービス料込）  
和食卓盛り料理

●鮓カルパッチョ バジルオレンジの香り  
●ペッパー・チキン 兵庫県産サラダ仕立て  
●お造り二種盛合せ ●蟹のすり身寄せ 蕎合煮  
●牛肉と冬大根のフレゼ マスター風味  
●ヤリ島鶏と兵庫県産野菜のベジグラタン  
●三田こじかひり 兵庫県産レタス サラダ巻寿司  
●兵庫県産葱の椎子そば  
●デザート（ブッフェコーナーにてご提供）  
●コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

**椿づばき** お一人様 8,000円  
（税込・サービス料込）  
和洋中卓盛り料理

●ずわい蟹と生ハム 兵庫県産野菜サラダ オレンジ風味  
●鴨のフレゼ モッツァレラチーズ パケット添え  
●ゴーニュ盛合せ ●お造り三種盛合せ  
●スペインイベリコ豚 兵庫県産トマト煮込み ポテト  
●サニーチキンと椎茸 オーブン焼き  
●三田こじかひりにぎり寿司盛合せ ●兵庫県産葱の椎子そば（ライス）牛すテーキ鉄板焼き  
●フルーツアサート（ブッフェコーナーにてご提供）  
●コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

**Fleur**  
Lasse Hall Information  
HYOGO 150th Anniversary  
[フルール2018年12月号]

日本海と瀬戸内海に挟まれた兵庫は、自然豊かな海や山などに恵まれた食材の宝庫。ラッセホールの「冬のバンケットプラン」では、兵庫県産のさまざまな食材をお楽しみいただけます。ぜひこの機会にご利用ください。

2時間制  
20名  
様から

**ご予約・お問い合わせは**こちら 078-291-1110  
お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

**ラッセホール**  
〒650-0004  
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8  
TEL.078-291-1117 (代表)  
FAX.078-291-0333  
<https://www.lassehall.com>  
E-mail [info@lassehall.com](mailto:info@lassehall.com)

※記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。

**フリードリンク**

●瓶ビール ●焼酎(芋/麦) ●ウィスキー ●ハイボール ●赤/白ワイン ●日本酒又はカクテル ●ウーロン茶 ●オレンジジュース

プラス

プラス

プラス

**フード**

兵庫県産の食材を楽しむ  
兵庫地産フェア

兵庫県の地図

冒頭、主催者として則松佳子日教組中央執行副委員長、開催地を代表して、日教組香川の島村太伸執行委員長よりあいさつがあつた。その後、内藤獎日教組組織共闘部長による基調報告が行われた。

2018年度日教組平和集会が10月13日・14日の2日間、香川県高松市において開催された。今回、2人の方が兵庫から参加した。

宝塚 良元小学校分会  
澤田 強志

方・歩き方ガイドブック作成報告

## 2018年度 日教組平和集会 ～教え子を再び戦場に送るな～

とき：10月13日(土)～14日(日)  
ところ：香川県高松市  
主催：日本教職員組合

2018年度

### 日教組平和集会

～教え子を再び戦場に送るな～

兵教組川原中央執行委員長  
あいさつより

本中央委員会は、昨年六月の定期大会で決定された運動方針に基づき、来年三月ごろまでの当面する運動の展開や18対県確定闘争の妥結結果などについて、決議いたしましたものであ



ネートのもと、小学校組合員、中学校管理職、県教育委員会、三木市保護者の4人のシンポジストによるそれらの立場からの提起があり、フロアからの意見や「道徳プロジェクト会議」委員からの提起をもとにす

二、政策・制度要求実現のとりくみについて  
平和と民主主義、憲法教育は危機的な状況と言つても過言ではない。私たちは種々の課題を、各段階での交渉・協議を通じて解決してきた。その議論に、教職員や教育現場の実態を背景にした意見反映は不可欠

三、現在、中教審で審議されている「働き方改革」について  
中教審に「学校における働き方改革特別部会」が設置され、今年度中の「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン(仮称)」の策定にむけ議論

方では、勤務時間中に休憩補を推薦決定している。七月の参議院選挙には、兵政連会長・前参議院議員の「みずおか俊一」さんを日教組の比例代表組織内予定候補として決定している。

令を遵守して必勝にむけてとりくもう。  
組織の総力を結集し、法律を遵守して必勝にむけてとりくもう。

る。取り巻く情勢から、三点申し上げる。  
一、ひょうご教育フェスティバルについて、シンポジウム「どうする特別の教科「道徳」と題して開催した。「道徳」プロジェクト会議」委員のコーディ

教材や指導方法の工夫、子ども同士の関わりや子どもと地域の関わり等を意識した実践が多数報告された。

あるとの意見が出された。現状の勤務実態での二年単位の変形労働時間制の導入は、単に教員の時間外労働を追認するものであり、教職員の長時間労働における健康と福祉の問題解

決にはつながらない。今後も、「答申案」に対するパブリックコメントのとりくみを強化し、計画的な教職員の定数改善や大胆な業務削減を前提とした教育施策への転換を強くもとめていく必要がある。

長年やつていると、マンネリになりがちだが、日々が自分の研究であり、たくさんの出会いを通して、自分の感性を磨き続けることが必要だと思った。

教育現場だけではなく、社会の一員として、あらゆるところで、「おかしいことはおかしい」と声をあげ、誰もが尊重される社会をつくることが、次世代を生き

## 第266回兵教組中央委員会 当面の運動方針が決定される

である。教職員出身の兵政連・日政連議員を議会に送る意義はここにある。

来年四月の統一地方自治体選挙には八人の組織内候補を推薦決定している。七月の参議院選挙には、兵政連会長・前参議院議員の「みずおか俊一」さんを日教組の比例代表組織内予定候補として決定している。

現状の勤務実態での二年単位の変形労働時間制の導入は、単に教員の時間外労働を追認するものであり、教職員の長時間労働における健康と福祉の問題解

決にはつながらない。今後も、「答申案」に対するパブリックコメントのとりくみを強化し、計画的な教職員の定数改善や大胆な業務削減を前提とした教育施策への転換を強くもとめていく必要がある。

ぐだきないよう、警告を出

し続け、説得していただきたいと思つた。

分科会で印象に残つた実

践のひとつは、証言者に直

接出会つて、その証言や本

人が感じたことをもとにシ

ナリオをつくり、劇化され

ているというとりくみだつ

た。自身の感性が豊かで、

それを子どもに伝えたいと

いう熱い思いがなくてはで

きないことなどを感じた。

これを、自分自身の日々

の生活の中で、実践してい

きたいと思った。

あきらめないこと」。

「勝つ方法・・・それは

あきらめないこと」。

これで、自分自身の日々

の生活の中で、実践してい

きたいと思った。



みずおか俊一さんに聞く～その④～  
安心できる「暮らし」について  
Q: 外国人労働者が増え、将来的に共に働き、暮らすのだから、異文化間の相互理解は重要だと思います。教育が担う役割は?  
A: 学校では日本語を話せない子どもが増えており、多言語を話せる教員の配置は極めて不十分です。よって、十分な支援が受けられないまま通学できなくなり、義務教育すら受けずに成人してしまう外国人労働者の子どもも少なくありません。共に学ぶ環境を整えられるよう、まずはしっかりと予算措置をしていく。その上で、子どもたちの自己肯定感を高め、夢や目標を支える仕組みを教育政策に盛り込むことが必要だと考えています。

## 自動車共済・2017年9月に制度改定を行いパワーアップ!!

### くるま通勤の方必見!

#### ■通勤中の事故は等級ダウンなし!

\*補償充実コース・6等級以上で1共済期間中1回限り

もちろんこれまでどおり

#### ■公務中使用中の事故も等級ダウンなし!

\*全コース・全等級に適用

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧いただき、制度内容をご確認ください。



#### 意外と多い 通勤時間帯の事故

**41.9%**

※2015年度に自動車共済の現職加入者が起こした対人・対物事故のうち、平日の「午前7時～8時台」「午後5時～8時台」の事故の割合

## あんしんむすぶ ・教職員共済

資料請求は  
お問い合わせ

教職員共済生活協同組合  
兵庫県事業所

〒650-0004  
神戸市中央区中山手通4丁目  
10-8 ラッセホール4F  
電話 (078) 221-9730  
FAX (078) 221-1199

承 18-56-01 (1804)